

問 住民本位の行政実現を

答 住民参画、正面から
取り組む



市民クラブ 友友会
岩路 昭美

問 住民の良識ある選択によって破綻寸前の合併新市の基本理念が、かろうじて守られた。市長は合併協定を生かす住民目線を立位置とされましたが、市政を進められる基本方針を改めておたずねいたします。

市長 基本方針の第1は、徹底した情報公開による

て市民が市政にかかわる開かれた行政の仕組みづくり。第2に「自治基本条例を制定」し市民と共に歩む行政の第一歩としたい。第3に「組織機構、事業の見直し、行財政改革の断行」です。

問 組織機構見直しの最たるものは、市民局の弱体化により地域対応力、現地解決力の低下であります。どのように機能強化、活性化を図られますか。

市長 第一線で地域振興や福祉行政等々にあたる市民局の機能・権限の強化は必要であり、住民の参画も得ながら検証し、早急

に対処していきます。

問 自治基本条例の制定が公約ですが、その必要性や市長の所見を承りたいのですが。

市長 住民本位の市政実現には、行政に住民が参画しやすい仕組みづくりがなにより重要です。

それが自治体基本条例であり、必要不可欠な土俵づくりです。

問 私も基本条例づくりは必要と考えますが、クリアすべき課題が多大ですが、本気でやって頂きたい。行動計画は。

市長 課題は多岐にわたり、きびしい道ですが、市民、議会の参画を得て、何としても早期制定を成しとげて参りたい。

問 地域協議会は、合併によるのではとの住民不安の解消と、住民参画のモデルでしたが、それを行政が意識的に骨抜きにしたと思います。この様な行政のあり方では住民参画は空念仏になると憂慮しますが。

市長 地域協議会は、合併によるものではとの住民不安の解消と、住民参画のモデルでしたが、それを行政が意識的に骨抜きにしたと思います。この様な行政のあり方では住民参画は空念仏になると憂慮しますが。

市長 形骸化とまらない素案を示しより良い方向で検討したい。

位置づけは、基本条例の中で考えていきます。

問 し尿券不正問題は、行政内部の職員、管理職の不正を基づく複合的不正事件と私は考えますが、市長のご見解は。

市長 司法関係者の協力を必要とする刑事事犯と、行政責任に関する部分と2つに分けて考えたいと思っています。

問 き損されたた公金1600万円余が、行政責任において回復されない限り当件の決着にはならないと考えますが。

市長 公金棄損は行政に大きな責任があります。損害賠償のあり方、法令遵守、説明責任等に対処する特命対策チームを立ち上げる計画です。

問 特命対策チームの立ち上げはいつになりますか。

市長 この定例会終了後、早急に立ち上げます。



新庁舎エントランス